



令和6年9月2日

救急医療週間の実施について

— 9月9日は「救急の日」 —

救急医療週間は、救急医療と救急業務に対する都民の皆様の正しい理解と認識を深めるとともに、救急医療関係者の意識の高揚を図ることを目的に、毎年9月9日の救急の日を含む日曜日から土曜日までの1週間に行っています。

東京消防庁では本年も「救急の日」及び「救急医療週間」を中心に、令和6年度救急フェアをはじめとする行事を下記の推進事項のもとに普及活動を実施いたします。

1 救急の日及び救急医療週間

- (1) 救急の日……令和6年9月9日(月)
- (2) 救急医療週間…令和6年9月8日(日)から9月14日(土)まで

2 「第11回地域の応急手当普及功労賞」の決定について

最優秀賞(消防総監賞)3団体(資料1)

- 日本ホテル株式会社 ホテルメトロポリタンエドモント (千代田区・麴町消防署管内)
- 公益財団法人 サントリー芸術財団 サントリーホール (港区・赤坂消防署管内)
- 社会福祉法人ひまわり福祉会 ひまわりキッズガーデン豊洲 (江東区・深川消防署管内)

優秀賞(救急部長賞)2団体(資料1)

- 大田区役所 (大田区・蒲田消防署管内)
- 京王電鉄株式会社 鉄道事業本部鉄道営業部 井の頭北管区(明大前駅)
(世田谷区・世田谷消防署管内)

3 「令和6年度東京消防庁救急フェア」の実施について

救急需要の増大に伴い、適時・適切な救急車の利用を広報し、救急需要の抑制を図るとともに、いざというときに応急手当を実施できるよう口頭指導制度の周知、救命技能講習を実施します。(資料2)

- (1) 日時
令和6年9月9日(月) 9時50分から12時50分まで
- (2) 場所
新宿住友ビル三角広場(新宿区西新宿2-6-1)

4 救急医療週間中の各消防署の主な行事

東京消防庁ホームページ、公式アプリ、SNS等で広報いたします。また、各消防署の行事については、東京消防庁公式アプリでご確認ください。

5 推進事項

各項目の詳細については東京消防庁ホームページからご確認いただけます。
(<http://www.tfd.metro.tokyo.jp/hp-kouhouka/houdou.html>)

(1) 救急車の適時・適切な利用の促進

令和5年中の救急出場件数は過去最多の約92万件でしたが、本年も前年を上回るペースで出場件数が増加しています。

119番通報で救急要請を受けると、対応可能な最も近くの救急車が出場しますが、救急要請が増加して近くの救急車が全て出場してしまうと、到着までに時間がかかってしまいます。真に緊急を要する方の救命につなげるために、救急車の適時・適切な利用を呼びかけています。(資料3)

(2) 東京消防庁救急相談センター及び東京版救急受診ガイドの周知並びに利用促進

東京消防庁では、急な病気やけがで救急車を呼ぶか判断に迷った際に、電話で相談できる「東京消防庁救急相談センター(＃7119)」と、症状の緊急度を自身で判断できる「東京版救急受診ガイド」により、都民の皆様に安心を提供しています。

東京消防庁救急相談センター(＃7119)及び東京版救急受診ガイドの更なる利用促進に向けて、広報活動を推進していきます。(資料4)

(3) 応急手当の普及促進

バイスタンダー(そばに居合わせた人)の応急手当は、救命効果の向上に大きく関わっています。普段から応急手当の方法を覚えていただき、誰もが自信を持って応急手当を実施できるよう、更なる応急手当の普及促進を図ります。(資料5)

また、救命効果の向上を図るため、119番通報の受付対応と並行し、通報者に対する応急手当のアドバイス(口頭指導)を実施しています。(資料6)

問合せ先

東京消防庁(代)	電話 3212-2111
救急医務課救急相談係	内線 4545~4546
救急指導課救急普及係	内線 4625~4626
総合指令室管理係	内線 3746
広報課報道係	内線 2345~2350

資料1

「第11回地域の応急手当普及功労賞」の決定について

1 地域の応急手当普及功労賞について

この賞は、応急手当奨励事業所のうち、地域における応急救護体制づくりに主体的に取り組んでいる事業所等を各消防署から募集し、効果的かつ模範的な取組みを表彰するものです。

受賞団体の取組みは、奏功事例として広く紹介し、様々な事業所や団体で参考にさせていただいています。

2 最優秀賞(消防総監賞)受賞団体について

(1) 日本ホテル株式会社 ホテルメトロポリタンエドモント (麴町消防署管内)

最優秀賞受賞の理由

1. 救命講習を20年以上継続的に受講しており、毎月夜間体制の応急救護訓練(AEDの取扱い、事例検討等)を自主的に開催し、知識・技術の維持に努めています。
2. アイガーデンエアタウンマネジメント協議会に参加し、7事業所間で火災や地震等発生時に相互協力して救助、救護活動を行う災害時相互応援協定を締結しております。また各事業所と地域の町会とが参加する防災訓練を毎年実施しています。
3. AEDを館内の5カ所に設置しており、誰でも使用することができます。

(2) 公益財団法人 サントリー芸術財団 サントリーホール (赤坂消防署管内)

最優秀賞受賞の理由

1. 施設内だけではなく、隣接するアークヒルズ内での急病事案に対しても即座に対応できるよう1階のエントランス内のクローク横にAEDを設置しています。
2. 重量訓練人形を活用した担架搬送訓練を実施する等、全従業員が主体となって実災害に則した訓練を行っています。
3. 20年間応急手当奨励事業所を継続し、搬送ルート等施設特性を捉えた救護活動体制の構築や新規採用職員へのAED取扱い訓練等の従業員教育を実施しています。

(3) 社会福祉法人 ひまわり福祉会 ひまわりキッズガーデン豊洲 (深川消防署管内)

最優秀賞受賞の理由

1. 保育園を「社会資源としての地域福祉施設」と捉え、地域の子育て世代に対して、育児サポートを目的とした応急手当等の育児講習の毎月開催、ホームページやSNSによる情報発信を行い、子育て支援を通じて地域との交流・連携を深めています。
2. 同施設のAEDは日本救急医療財団全国AEDマップへ登録されており、誰もが使用することができます。
3. 令和4年に応急手当普及員が委嘱状の交付を受け、令和5年度には2回の普通救命講習を自主開催し、職員の応急手当に対する意識と自主性の向上に取り組んでいます。

3 優秀賞(救急部長賞)受賞団体について

(1) 大田区役所 (蒲田消防署管内)

優秀賞受賞の理由

1. 区民の安心・安全を実現できる体制の整備を目的として、平成18年から年度受講計画を策定し、普通救命講習と上級救命講習の受講を継続しています。組織全体として救命に対する意識の醸成及び技能の習得を図っています。
2. 区ホームページの生活情報では、AEDの説明に加え、現在地から最寄りのAEDの検索や区管理AEDを町名から検索が可能です。またAED設置場所周知用テンプレートを作成し、誰でも容易にダウンロードができるようにしています。
3. 大田区と株式会社セブン-イレブン・ジャパンが包括連携協定を締結し、誰でもわかりやすいコンビニエンスストアにAEDを設置し、夜間や休日でもAEDによる迅速な救命処置が行えるように整備しています。

(2) 京王電鉄株式会社 鉄道事業本部鉄道営業部 井の頭北管区(明大前駅) (世田谷消防署管内)

優秀賞受賞の理由

1. ホーム上で急病人が発生した場合に駅員と通話ができるインターホンの設置を進め、早期救護対応に備えています。
2. 駅舎コンコース1階に設置しているAEDは、駅舎営業時間内(始発～終電)であれば、駅周辺の急病人発生時に対応可能であり、地域の安心・安全に貢献しています。
3. 毎日20万人以上の利用客を有する駅として、災害等発生時の社内対応マニュアルを整備し、迅速な119番通報やAEDの搬送、救命処置が着手できる社内体制を構築しています。取り組みは乗客の傷病発生時に活かされ、複数回感謝状の贈呈を受けています。

応急手当奨励制度について

● 応急手当奨励制度の目的

突然の病気やけがなどの救急事故現場に居合わせた人々(バイスタンダー)が、救急車到着までの間に応急手当を実施することは大変重要です。特に、さまざまな人が多く集まる事業所や商店街、町会等において、応急救護体制の構築が期待されています。

そこで東京消防庁では、救命効果を高めるための方策の一つとして、応急手当普及に対する認識を高めていただき、事業所や商店街、町会等が自ら応急救護体制づくりができるよう、救命講習に対する積極的な取り組みを奨励しています。

● 救命講習受講優良証

応急手当の普及に関し、下記の交付要件を満たしている事業所等に対して、消防署長が救命講習受講優良証、優良マークを交付します。

交付要件

- ① 事業所や商店街、地域等で、救命講習の普及を推進する人(応急手当普及員など)が養成され、救命講習の普及に活用されていること。
- ② 交付対象毎に、総数(従業員数等)の30%以上が、有効期限内にある救命講習修了者であること。

優良証交付事業所等の公表及び優良マークの交付



救命講習受講優良証



優良マーク

【優良マークの活用】

- ・掲示は事業所の任意とします。
- ・直径200mm以内の加工が可能です。
- ※形態や色の加工はできません。

【加工例】

名刺

株式会社消防観光



安心安全な事業所

営業部長 東 消 太 郎
東京都千代田区大手町1-3-5
Tel.03-XXXX-5678
E-mail tosho@sho-bo-kannko



バッジ

令和6年8月1日現在、1,421 の事業所等に対して交付しています。

主な事業所等は下表のとおりです。



事業所、駅舎、バス・タクシー会社、商店街、デパート、スーパーマーケット、町会・自治会、公衆浴場、旅館、ホテル、ガソリンスタンド、学校、幼稚園、保育園、劇場、映画館、スポーツ施設、遊園地、銀行、信用金庫、郵便局、区役所・市役所 など

応急手当奨励制度に関することや交付手続きなど、ご不明な点がございましたら東京消防庁管内の各消防署へお問合せください。

資料2

「令和6年度東京消防庁救急フェア」の実施について

東京消防庁では、令和6年9月9日(月)に新宿住友ビル三角広場において東京消防庁救急フェアを実施します。

1 東京消防庁救急フェアについて

救急需要の増大に伴い、適時・適切な救急車の利用を広報し、救急需要の抑制を図ることを目的とし9月9日の「救急の日」に実施します。併せて、いざというときに応急手当を実施できるよう口頭指導制度の周知、救命技能講習を行います。

2 日時

令和6年9月9日(月) 9時50分から12時50分まで

3 場所

新宿住友ビル三角広場(新宿区西新宿2-6-1)

4 プログラム

	時間	プログラム・内容
第1部	【9時50分 ～10時10分】	第11回地域の応急手当普及功労賞表彰式 最優秀賞(消防総監賞)3団体 ・日本ホテル株式会社 ホテルメトロポリタンエドモント ・公益財団法人 サントリー芸術財団 サントリーホール ・社会福祉法人 ひまわり福祉会 ひまわりキッズガーデン豊洲 消防総監 挨拶
休憩・会場準備		
第2部	【10時15分 ～10時35分】	救急車の適時・適切な利用の促進 一日救急隊長任命(俳優・モデル 宮本 茉由 さん) トークイベント ・「#7119」東京消防庁救急相談センター、東京版救急受診ガイド、救急車ひっ迫アラート、口頭指導、Live119の周知 ・一日救急隊長 宮本 茉由さんへの感謝状贈呈
休憩・会場準備		
第3部	【10時50分 ～12時50分】	応急手当の普及啓発 救命技能講習
	【13時00分 ～13時30分】	東京消防庁音楽隊、カラーガーズ隊による演奏・演技

5 取材について

- (1) 取材を希望される方は、**9時20分までに三角広場内の受付**にお越してください。
- (2) 取材を希望される場合は、**令和6年9月8日(日)13時00分までに広報課報道係**(代表電話:03-3212-2111)までご連絡ください。
- (3) 取材時は、必ず**自社腕章**を着用してください。
- (4) 会場には**駐車場がありません**ので、予めご了承ください。

令和6年度東京消防庁救急フェア



○開催日時

令和6年9月9日（月曜日） 9時50分から12時50分（受付開始8時50分）

○会場

新宿住友ビル三角広場
新宿区西新宿二丁目6番1号
*都営大江戸線 「都庁前」駅直結
*地下鉄 丸ノ内線 「西新宿」 徒歩 4分
*各線 「新宿」駅 徒歩 8分



○プログラム

第一部 第11回地域の応急手当普及功労表彰式

第二部 1日救急隊長トークイベント

宮本 菜由 さんを1日救急隊長としてお迎えし、救急に関するトークイベントを行います。

第三部 救命技能講習

講習時間は第一部から第三部までを含めた3時間の講習となります。

全プログラムにご参加いただいた皆様へ救命技能認定証を交付致します。

救急フェア終了後、13時00分から 東京消防庁音楽隊、カラーガーズ隊による、演奏・演技

宮本 菜由（みやもと まゆ）さん

主な出演ドラマ等
・ギフトド Season 2
・新空港占拠
・6秒間の軌跡～花火師・望月星太郎の2番目の憂鬱～
・ファッション誌、ビューティ誌多数登場



○参加者

救命技能講習を希望される方は、都内在住・在勤・在学の方が対象です。

○申込方法等

定員 250名（参加無料、申込順）

- ・電子メールの場合、メール本文に、①お名前（ヨミ）、②性別、③生年月日（西暦）、④郵便番号、⑤住所、⑥電話番号をご記入の上、kyuusidouka2@tfd.metro.tokyo.jpへ送信してください。
- ・電話の場合、**03-5276-0995**（公益財団法人 東京防災救急協会、受付時間：平日9時00分から16時00分まで）へお申込みください。

申込締め切り 令和6年8月26日（月）（定員に達し次第、締め切ります）

※ 複数名で申込される方は、参加される全員の①から⑥までの記載をお願いします。

※ 受付完了の連絡はしていません。定員に達し、ご参加いただけない場合のみ、メール又は電話でご連絡させていただきます。

○留意事項

- ・当日は動きやすい服装でご参加ください。（スカート及びサンダル履きは不可）
- ・駐車場はございません。

○その他

救急フェアのご観覧は、申込がなくてもご参加いただけます（救命技能認定証の交付はありません）。

問合せ 東京消防庁救急指導課救急普及係
03-3212-2111（内線4625）（平日9:00～17:00）

資料3

救急車の適時・適切な利用の促進

令和5年中の救急出場件数は過去最多の約92万件でしたが、本年は前年を大きく上回るペースで出場件数が伸び続けております。

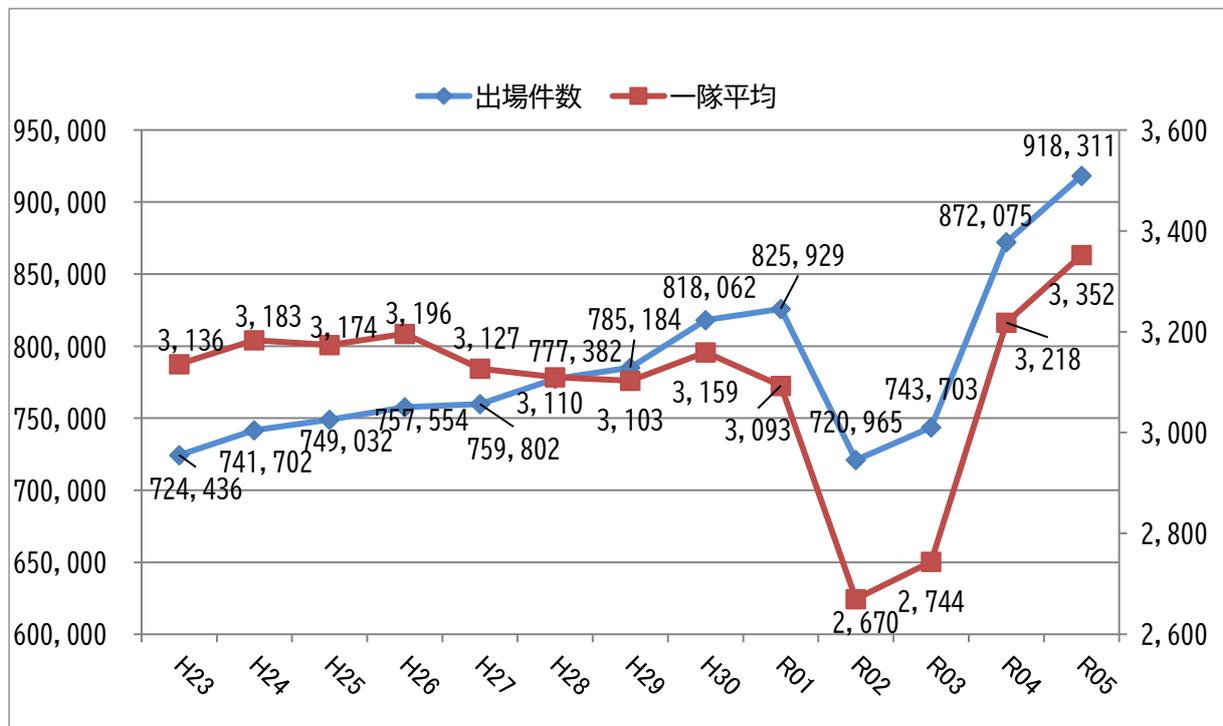
東京消防庁で実施した令和5年の消防に関する世論調査では、救急車を呼んだ理由として、「生命の危険があると思った」など正しい理解があった反面、「どこの病院へ行っていいかわからなかった」「救急車でいくと優先的に診てもらえると思った」「交通手段がなかった」といった、緊急性のない理由も見受けられました。

救急車で搬送された方のうち、入院を必要としない軽症者の割合は50%以上を占めており（令和4年中は、54.2%）、この割合は、近年においてほぼ横ばいで推移しています。

東京消防庁では、119番通報で救急車の要請を受けると、対応可能な最も近くの救急車を出動させていますが、緊急性のない理由での救急要請が増えて近くの救急車が全て出動してしまうと、遠くの救急車が出動することになり、到着まで時間がかかってしまいます。

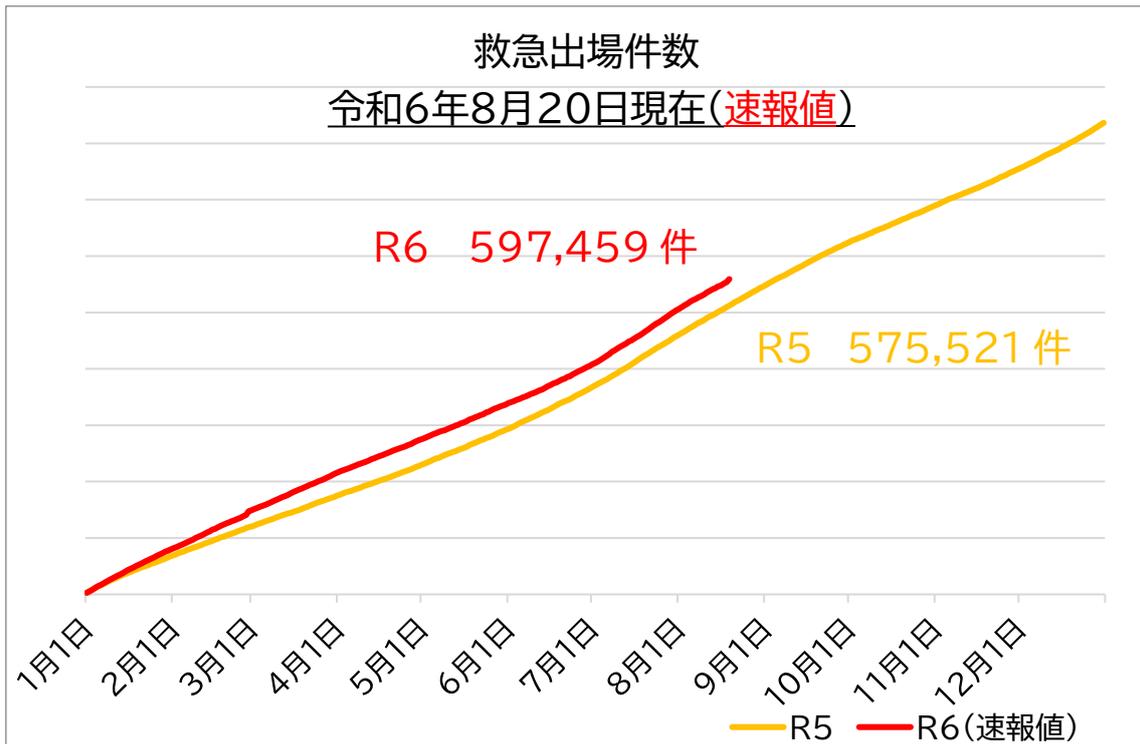
救急車の到着が遅れると、真に救急車を必要としている生命の危機が迫っている人を病院に搬送する時間が遅くなり、命が助かる可能性が低下してしまうため、真に救急車を必要とする方のために、救急車の適時・適切な利用を呼びかけていきます。

救急出場件数の推移



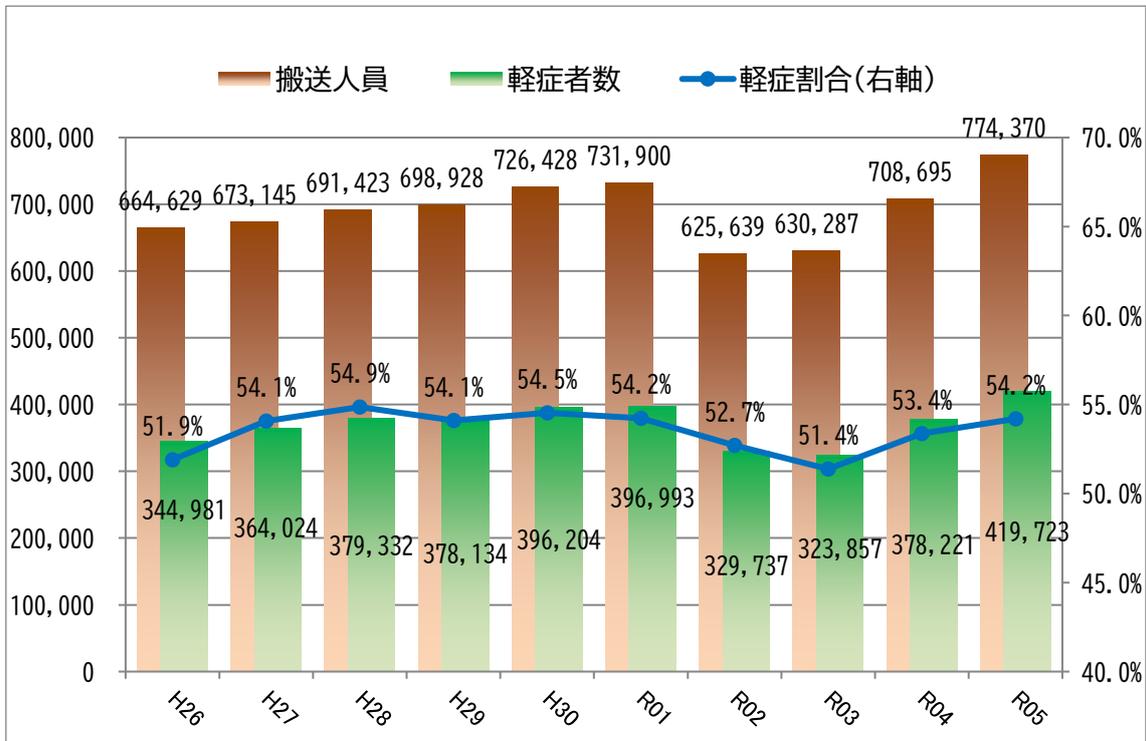
令和5年中の救急出動件数は、918,311件で過去最多を記録しました

救急出場件数(令和5年・令和6年比較)



昨年を上回るペースで救急出場が増加しています

搬送人員・軽症者数・軽症割合の推移



救急搬送人員に占める軽症者の割合は50%台で横ばいの状態です

資料4

東京消防庁救急相談センター及び 東京版救急受診ガイドの周知及び利用促進

「#7119」東京消防庁救急相談センター(以下「救急相談センター」という。)は、急な病気やけがで判断に迷った際の電話相談窓口として平成19年6月から運用を開始し、相談医療チーム(医師、看護師、救急隊経験者等)が、24時間・年中無休で対応しています。

令和5年は開設以来最多の約47万件の電話を受付け、約30万件の救急相談^{※1}及び約16万件の医療機関案内^{※2}を行うなど、都民の皆様に安心を提供しています。

また、症状の緊急度を自身で判断できる東京版救急受診ガイド(以下「救急受診ガイド」という。)をウェブと冊子により提供しており、電話相談と併せて、都民の皆様に安心を提供するツールとしてご利用いただいております。

今後、救急相談センター及び救急受診ガイドの更なる利用促進を図るため、あらゆる機会を通じた広報活動を推進していきます。

※1 救急相談:

相談者の症状から、救急車で医療機関へ行くべきか、自分でいつ頃までに何科へ受診すべきかの緊急度を判断しアドバイスをを行っています。

※2 医療機関案内:救急医療機関等からの情報に基づき、その時点で診察可能となっている病院をご案内しています。

《病院へ行く? 救急車を呼ぶ? 迷ったら…「#7119」》

救急車の適時・適切な利用のお願い

病院? 救急車? 迷ったら…

#7119

☎ 電話で相談
東京消防庁救急相談センター

📄 ネットでガイド
東京版救急受診ガイド

こちらからもつながります

03-3212-2323
042-521-2323

東京消防庁 HP
#7119 特設ページ

東京消防庁 東京都医師会 東京都保健医療局

「#7119」東京消防庁救急相談センターの業務概要

病院? 救急車? 迷ったら

#7119

こちらからつながります
03-3212-2323
042-521-2323

電話で相談 **#7119** 電話
東京消防庁救急相談センター

ネットでガイド 救急受診ガイド 検索
東京消防庁救急相談センター

※ご利用には通常の通信料がかかります

東京消防庁救急相談センター

迷ったら

おなかが痛いけど、どこの病院に行けばいいんだろう?

けがや急な発熱。病院に行くべきか、救急車を呼ぶべきか分からない...

ためらわず

突然の激しい頭痛や、急な息切れ、呼吸困難などの症状がみられたら

自動音声ガイダンス

医療機関をお探しの方 1
・近くの病院を知りたい

救急相談をご希望の方 2
・今すぐ病院へ行くべきか
・何科を受診すべきか 等

24時間受付 (年中無休) 救急相談センター

救急相談通信員
●医療機関案内

救急相談看護師
●医療機関案内
●救急相談

救急相談医
●相談業務における医学的判断プロセスの監督と最終決定

119番通報を!

救急車による搬送

医療機関案内

保健医療局等が開設する窓口を案内

※救急相談は、日本救急医学会の基準により東京都医師会が審査したプロトコルに基づいて相談看護師が対応しています。また稼働している医師(救急相談医)が必要に応じて助言を行い、医学的見地に基づいた賢い救急相談対応を行っています。

東京版 救急受診ガイド

インターネットで病気やけがの緊急度がチェックできます。

東京消防庁のホームページで症状ごとの質問に答えていくと病気やけがの緊急度や、受診する科目を確認できます。

赤 救急車要請
「今すぐ救急車で」病院に行った方がよい

橙 今すぐに受診
「1時間以内」に病院に行った方がよい

黄 これから受診
「6~8時間以内」に病院に行った方がよい

緑 明日には受診
「24時間以内」に病院に行った方がよい

判断結果によって緊急度が分かります。

東京版 救急受診ガイド 冊子版

全ての消防署に置いてありますので、どうぞご利用ください。該当する症状がない場合、判断がつかない場合、救急相談センターへの電話相談へ戻します。

携帯電話はこちらから

パソコンから 救急受診ガイド 検索

<https://www.tfd.metro.tokyo.lg.jp>

東京消防庁救急相談センターの受付状況(過去5年間)

期間(年中)	総受付数	医療機関案内	救急相談	救急要請	中等症以上
令和元年	417,013	184,425	231,686	31,412	11,276
	1,143/日	505/日	635/日	86/日	31/日
令和2年	362,454	140,261	221,379	34,392	12,418
	990/日	383/日	605/日	94/日	34/日
令和3年	362,392	124,228	236,757	38,755	13,605
	993/日	340/日	649/日	106/日	37/日
令和4年	439,507	175,822	262,036	42,674	14,137
	1,204/日	481/日	717/日	116/日	38/日
令和5年	467,267	161,460	303,102	54,201	19,388
	1,280/日	442/日	830/日	148/日	53/日

東京版救急受診ガイド

急な病気やけがをした際に、「今すぐ病院に行くべきか」「救急車を呼ぶべきか」迷った時に自ら緊急性の判断ができる「東京版救急受診ガイド」を東京消防庁ホームページ上で提供しており、パソコン、スマートフォン、携帯電話から利用することができます。

「東京版救急受診ガイド」は、59の症状から該当する症状について、表示された質問から当てはまるものを選択することで、病気やけがの緊急性の有無、受診の必要性、時期、科目のアドバイスを得られるサービスです。また、外国の方が症状の緊急度を自ら判断できるように「英語版・ウェブ版」を同内容で作成しています。

なお、インターネット環境を持たない都民の方へは冊子版も提供しています。冊子版は各消防署にありますので、ご利用ください。

東京版 救急受診ガイドの利用方法・サービス内容

スマートフォン・携帯電話やパソコンから東京消防庁ホームページにアクセスして『東京版救急受診ガイド』をご利用ください。

<3つのアドバイスを提供>

- 病気やけがの緊急性
- 受診する時期
- 受診する科目

※リンクから受診可能な病院検索もできます。



病気やけがの緊急性などは、ウェブ版も冊子版もチェックした質問によりアドバイスを確認できます。

- 赤 救急車を要請(今すぐ119番へ)
- 橙 今すぐに受診(1時間以内に病院へ)
- 黄 これから受診(6~8時間以内に病院へ)
- 緑 明日には受診(24時間以内に病院へ)



緊急性がある場合は、ためらわず救急車(119番)をお呼びください。



— 救急車の適時・適切な利用のお願い —

病院？ 救急車？ 迷ったら…

Hospital? Ambulance? When in doubt, call…

#7119

東京消防庁救急相談センター

電話で
相談する



ネットで
判断する



病気？ けが？
まず、落ち着いて！

**東京消防庁
救急相談センター**

24時間受付・年中無休
医師、看護師、救急隊経験者等
の職員が対応。

POINT!

- ▶ 症状に基づく緊急性の有無のアドバイス
- ▶ 受診の必要性に関するアドバイス
- ▶ 医療機関案内

☎ 受けられない救急相談
健康相談 / 医薬品情報に関すること / センサーデバイスに依存すること

こちらからも
つながります
03(3212)2323
042(521)2323

**東京版
救急受診ガイド**

インターネットで病気やけがの
緊急度をチェック

症状を選択しガイド入力⇒相談結果の表示

スマートフォン用
料子は消防署にありますので、ご利用ください。



「救急車 適切利用で 救える命」

竹倉 靖 氏啓さん、倉庫区在学

安否を知らせる・確認する

「東京消防庁公式アプリ」をダウンロードしよう！

東京消防庁

東京都医師会 東京都保健医療局



東京消防

検索

<https://www.tfd.metro.tokyo.lg.jp>



リサイクルマーク

12120-060805

応急手当の普及促進

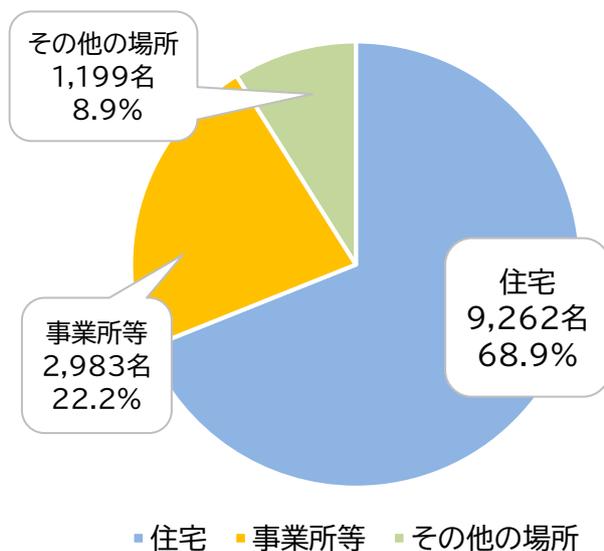
傷病者の救命効果を高めるためには、バイスタンダー(そばに居合わせた人)による応急手当がとても大切です。特に心停止の傷病者に対しては、早い発見と通報、心肺蘇生とAEDによる除細動(電気ショック)が重要になりますので、東京消防庁では都内在住、在勤、在学の方々に対して、応急手当講習を推進し、多くの皆様に受講していただいています。

令和5年中の「市民目撃のある心停止傷病者に対して行われた応急手当の状況」は、事業所(会社や不特定多数の方が集まる場所)での応急手当実施率が75.9%となり、多くの方による救護の手が差し伸べられています。しかしながら、全体では54.4%で応急手当が行われている中、発生割合の高い住宅での応急手当実施率は44.1%にとどまっているため、更なる応急手当の普及が必要です。

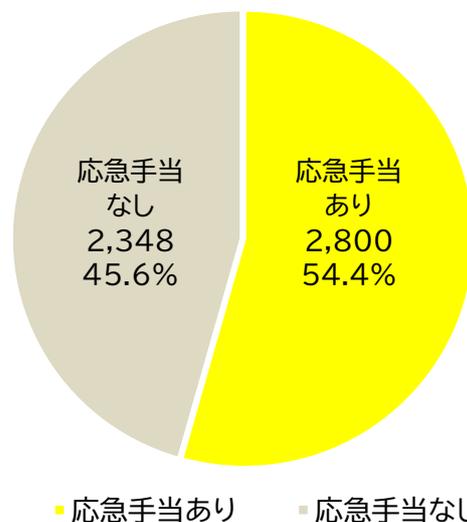
心停止傷病者発生場所別の応急手当実施状況等(令和5年中)

発生場所	搬送人員	心停止 市民目撃あり	応急手当あり (胸骨圧迫・人工呼吸・除細動)	
	a		b	c
住宅	9,262人	3,066人	1,351人	44.1%
事業所等	2,983人	1,395人	1,059人	75.9%
その他の場所	1,199人	687人	390人	56.8%
総計	13,444人	5,148人	2,800人	54.4%

心停止発生場所割合



バイスタンダーによる応急手当実施状況
(市民目撃あり)



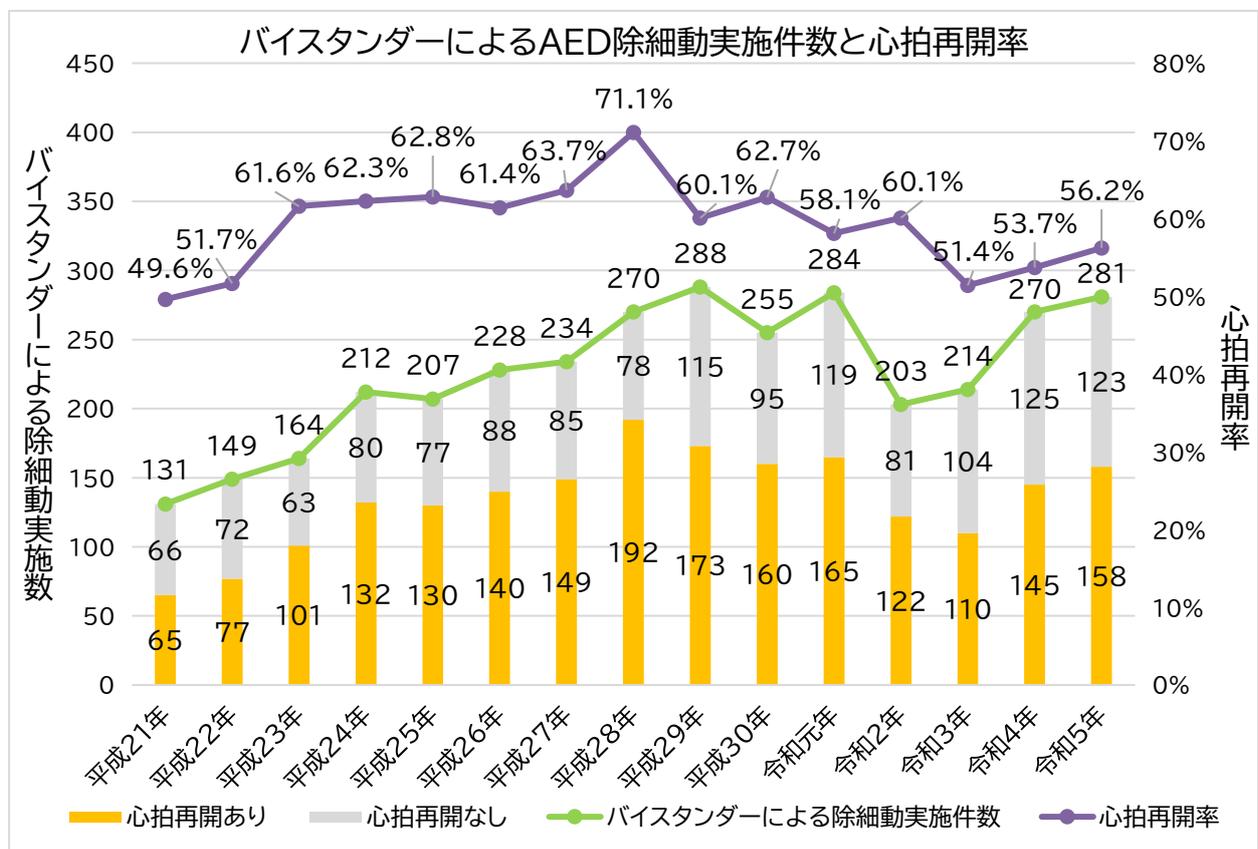
心停止の市民目撃があった傷病者に対する応急手当(胸骨圧迫・人工呼吸・AED)の実施状況のなかで、バイスタンダーによる応急手当が行われていたのは 2,800 人でした。このうち、救急隊が医療機関に傷病者を収容するまでに心拍が再開した傷病者は621人(22.2%)で、1か月生存者数の 322 人(11.5%)と同様、応急手当なしの場合と大きな差があります。(下表)

心停止の市民目撃のあった傷病者に対する応急手当実施状況等(令和5年中)
(病院収容前心拍再開・1か月生存状況)

市民目撃あり	搬送人員	心拍再開数	心拍再開率	1か月生存数	1か月生存率
応急手当あり	2,800人	621人	22.2%	322人	11.5%
応急手当なし	2,348人	305人	13.0%	95人	4.0%
合計	5,148人	926人	18.0%	417人	8.1%

令和5年中にバイスタンダーがAEDを使用し、除細動(電気ショック)を実施した人数は 281 人で、そのうち 158 人(56.2%)が医療機関収容前に心拍の再開が認められました。(下図)

目撃のある傷病者に対するバイスタンダーによるAEDの救命効果(令和5年中)



東京消防庁では、業務委託している公益財団法人東京防災救急協会と連携し、各種応急手当講習を推進しています。

受講される都内在住、在勤、在学のみなさまの利便性を高めるため、東京消防庁ホームページに開設している電子学習室での事前学習による短縮救命講習をはじめ、さまざまな講習等を開催しています。

救命講習のお申込みは、公益財団法人東京防災救急協会のホームページや講習受付専用電話、またはお近くの消防署までお問合せください。



救急車 適切利用で 救える命

令和6年度東京消防庁 救急標語 作者：堀 莉緒さん（台東区在学）

救命講習のお申込みはホームページまたはお電話で！

東京防災救急協会

検索



<https://www.tokyo-bousai.or.jp>

(インターネットによる講習のお申込みは24時間対応しております)

応急手当の知識が身に付く！
講習時間が短くなる！

短縮救命講習開催中

事前にオンライン学習（電子学習室）を行うことで会場での講習時間が短縮される講習もあります。ぜひご利用ください。

詳細は東京消防庁HP「短縮救命講習のご案内」をご覧ください。

講習受付専用電話 **03-5276-0995**

(平日午前9時～午後4時)



公益財団法人

東京防災救急協会

東京消防庁

東京消防

検索



リサイクルマーク
この印刷物は、環境にやさしく
100%リサイクルです。

資料6

応急手当のアドバイス（口頭指導）

救命効果の向上を図るため、通報者に対する応急手当のアドバイス（口頭指導）を行っています。

1 通話によるアドバイス

119番通報後、救急隊が到着するまでの間に、災害救急情報センターの管制員や現場に向かう救急隊員が、通話により傷病者の状況等を確認しますので、その場の状況に応じた応急手当のアドバイスを受けることができます。

2 映像によるアドバイス「Live119」

災害救急情報センターの管制員は、通話によるアドバイスだけでなく、映像通報システム「Live119」を活用して、映像によるアドバイスも行っています。

これは、通報者のスマートフォンからの通報時に、電話を繋いだまま、現場の状況を映像で送信できるシステムです。まず、東京消防庁から URL 付きのショートメールを送信します。次に、このメールを開き、メッセージに従ってアクセスしていくと、その場の映像を東京消防庁と共有することができます。また、東京消防庁から応急手当のやり方の動画を送信することもできます。

映像を共有することで、とっさの状況でも言葉を使わず簡単に、今の状況を具体的に伝えることができます。さらに、その場の状況に応じた的確なアドバイスを受けることができます。

一緒に救急車が来るまでの時間に応急手当を行い、尊い命を救いましょう。



※Live119の接続に伴う通信費用は、通報者負担となります。

※映像撮影の際の、肖像権や安全には十分配慮してください。